

返還免除申請チェックリスト

学生ID:

氏名:

書類	No.	確認内容	✓
全て	1	提出書類がすべて揃っている ①2025年度業績優秀者返還免除申請書 1部 ②特に優れた業績を証明する資料<紙媒体> 2部 ③証明書交付願(該当者のみ) 1部 ④TA等担当実績証明書(該当者のみ) 1部 ⑤博士課程の業績評価に関するガイドラインについて (博士後期課程のみ) 1部 ⑥返還免除申請チェックリスト(司法研究科生、ビジネス研究科生は不要)1部 ⑦学内選考結果送付先届 1部	
申請書・業績資料	1	所属研究科の選考細則を確認した。選考対象外の業績を含めていない。	
	2	すべて第一種奨学金貸与期間中の業績である。 途中からの貸与者(二次採用者(10月~)や2年次からの採用者)は特に注意。	
申請書	1	申請書を両面印刷した	
	2	申請日を記載した(西暦間違いに注意)	
	3	課程の■を塗りつぶした	
	4	研究科名・専攻を記載した(専攻の記載漏れに注意)	
	5	生年月日が見切れていない	
	6	研究課題を文章で記載した(タイトル等は×)。印刷したときに見切れていない。	
	7	業績を記入例通りに記載した (不要な記載(ページ数等)があるなど、記入例通りでない場合は、再提出となります)	
	8	記入内容(申請者名・論文タイトル・学術雑誌名・学会名・発行年・発表年など)は、業績資料から確認できる。	
	9	誤字なく記入し、業績資料と一致している。(英語資料は英語、日本語資料は日本語で記入。)	
	10	業績資料から申請者名が確認できる。(申請者ではない代表者のみ記載がある資料だけでは×、特に学会発表で注意)	
	11	学会発表の場合、⑤表彰、受賞の有無を記載した	
	12	※進行中の業績の場合 所属研究科に評価対象となるか確認したうえで、記載した。ただし、申請時に投稿していない段階(投稿予定)では記載できません。	
	13	※進行中の業績の場合 発行年ではなく「投稿中」「査読中」「掲載決定」「〇〇年掲載予定」のいずれかで記載した	
	14	※進行中の業績の場合 枝番1にしていない	
	15	枝番1の「機構に提出」欄に✓をいれた(特に6-1、7-1記入漏れに注意)	
	16	(後期課程のみ)ガイドラインを満たしている項目を枝番1とした	
	17	項目6(成績)、項目7(TA等)の業績は、年ではなく年度で記載した	
業績資料	1	2部同じ資料を用意した	
	2	資料番号順にならべて表紙をつけた	
	3	右上に資料番号を記入した	
	4	申請者名、論文名、会議名、学術雑誌名、著者名、発表者名、発行年、発表年等に蛍光ペンでマークした	
	5	※進行中の業績の場合 その状態であることが証明できる資料をつけた	
	6	TA等担当実績証明書データ(word)をWebdiskにアップロードした。 (TAとRAなど2つ以上業績がある場合、それぞれで提出が必要です。)	